

安全に関する改善提案

記入日: 2005年 10月 1日
 (所属会社) (氏名) (連絡先電話番号)

記入者:

設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類
設計	コンクリートダム堤体工	墜落事故	設計・設備要因	高所作業

改善の概要:

非越流部の高標高部下流面は基本三角形の勾配から円弧を介して、鉛直に天端に向けて立ち上げる形状である。この円弧が介在することで、下部から使用してきた下流面型枠の大幅な取り替えが生じ、墜落転落、飛来落下災害等様々な危険有害要因を誘発する。設計の円弧曲率を大きくすれば大型型枠をそのまま継続的に使用できるようになり安全性に貢献する。

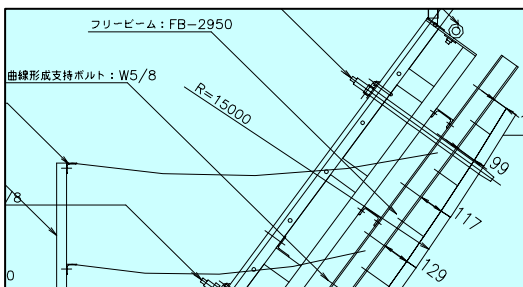
メリット:

大型型枠を取り替える必要がないため、安全性の向上やコスト縮減につながる。型枠取替えあるいは木製曲面型枠への段取替えがなくなり、打設休止日数が減って工程短縮にもなる。

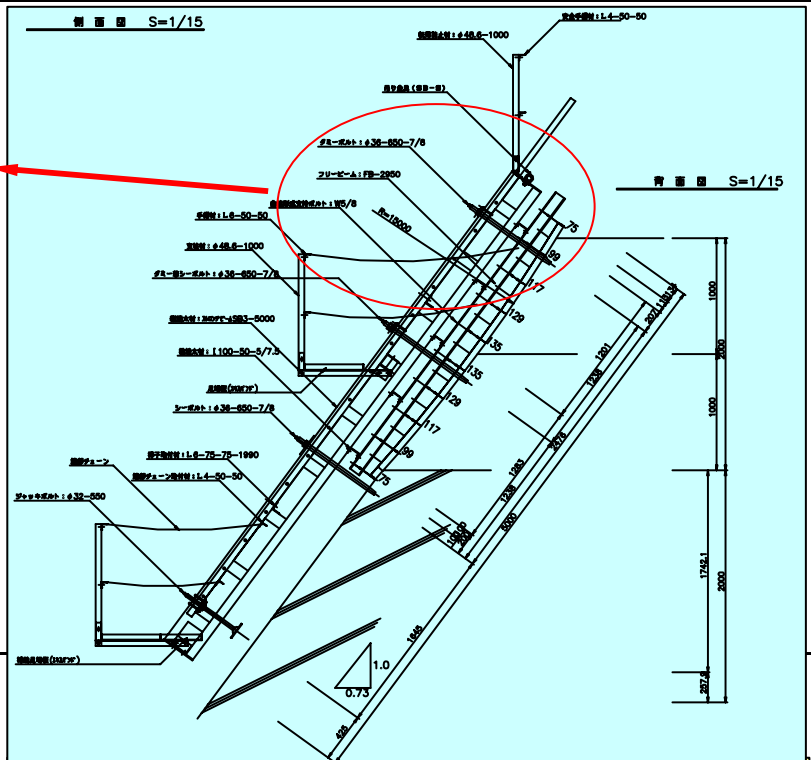
デメリット:

堤体コンクリート数量が増える。

改善前 (略図または写真)



従来は、これまで使用してきた下流面型枠を一旦取り外して、フリービームのような特殊型枠に改造したり、Rとなる部分に木製バラ枠を取付け、その後鉛直面になった段階で再度大型枠を設置していた。



改善後 (略図または写真)

